

# 人間環境設計論分野

Laboratory of Global Environmental Architecture

変容著しい現代社会において、  
地域の文化や風土から持続的人間環境のあり方を追求  
する。

小林広英 教授



落合知帆 准教授



# 研究の方法 1 : デザインワーク

## 地域に根ざす設計技術 (デザインワーク)

現代の社会的文脈にある住まいや暮らしの再構築・発展的継承のために、環境デザインやソーシャルデザイン方法論を適用しながら、実践的試行をおこなう。



バンブーグリーンハウスプロジェクト



コミュニティハウス再建



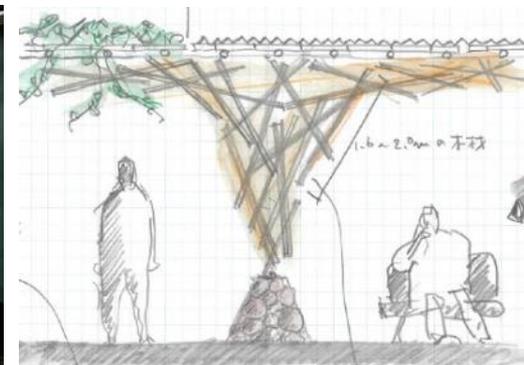
たねや農藝プロジェクト



空き家改修プロジェクト”サテライト古座”



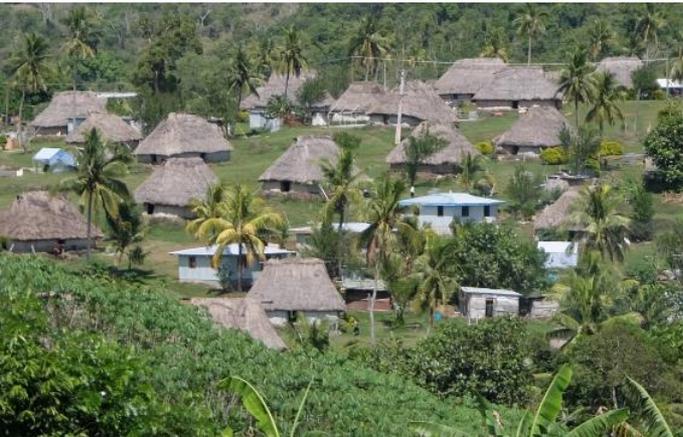
ヤンゴン・ソーシャルハウジング



地域資源利用デザイン

## 地域に根ざす人間居住（フィールドワーク）

自然環境と共生する集落や、多様な文化を内包する歴史都市のフィールド調査から、バランスある人間環境構築の知恵と実践のしくみを解明し、その持続可能性を探求する。



フィジー伝統集落とサイクロン災害



名田庄老左近・無住集落の再生



洪水避難家屋・上がり屋



在来建築技術聞き取り調査



防風石垣の集落



集落の災害伝統知に関する聞き取り調査

## 地域に根ざす設計技術 (デザインワーク)

- 古座の快適・安全・共生の再生まちづくり(和歌山県串本町)
- リサイクルプラ／炭化プラのソーシャルデザイン (愛媛県西条市)
- 間伐木材・竹材の地域資源利用デザインプロジェクト (兵庫県南あわじ市)
- 竹材循環利用のバンブーグリーンハウスプロジェクト (日本各地)
- ソーシャルハウジング改善プロジェクト (ミャンマー・ヤンゴン)

---

## 地域に根ざす人間居住 (フィールドワーク)

- サイクロン常襲地の居住環境フィールド調査 (南太平洋数カ国)
- 散村集落の伝統住居変容と在来資源の再評価調査 (富山県砺波市)
- 石技術文化をもつ集落の民俗学的フィールド調査 (滋賀県比良地域)
- 水害と風害を受ける集落の伝統知・地域知調査 (和歌山県田辺市)
- 災害復興住宅の居住環境調査 (台湾・台南市)

## 2021年度の研究室体制

■ **教員** 小林広英 教授, 落合知帆 准教授

■ **学生** 21 (うち留学生9人)

地球環境学舎 博士(4人), 修士(8人)

建築学専攻・建築学科 修士(6人), 学部生(3人)

---

■ **所属学生の専門分野 (人間環境設計論に関わる学問分野)**

建築学, 環境デザイン学, 社会学, 開発学, 防災学など

---

■ **研究手法**

フィールド調査 (建物実測, インタビュー, アンケート, 参与観察など)

---

■ **これまでの主なインターン研修先**

**大学** : 台湾大学 (台湾), バンドン工科大学, 四川大学 (中国), ブラック大学 (バン

グラデシュ), フェ大学 (ベトナム), 南太平洋大学 (フィジー)

**NGO** : アプカス (スリランカ), NSET (ネパール), CODI (タイ), SEEDS Asia (ミャン

マー), Habitat for Humanity (東京), MIT (対馬市), 美山里山舎 (南丹市)

**企業** : 魚谷繁礼建築研究所 (京都), 新居建築研究所 (徳島), 松井建設 (滋賀県)